

令和6年度青森県特別支援教育研究会 聴覚障害教育部会 活動状況報告書

聴覚障害教育部会事務局
(青森県立弘前聾学校)

1 部会構成と活動内容

本部会は、県内3聾学校（青森聾学校・弘前聾学校・八戸聾学校）の教員及び寄宿舍指導員で構成されている。研究大会は、3校が輪番で行い、主管校が会場となる。研究大会では日々の教育実践をもとに、各学部の指定授業についての授業研究会や寄宿舍分科会・養護教諭分科会の情報交換会等を設けている。

2 令和6年度の研究大会について

今年度の研究大会は令和8年度全日本聾教育研究会青森大会に設定した「よく考え主体的に学ぶための授業作り～新しい時代を自分らしく生きていくために～」というテーマを三校共通研究テーマとし、部会大会テーマとしても掲げて、9月20日（金）に弘前聾学校を会場に行われた。構成を、それぞれテーマに基づいた指定授業参観による授業研究会とテーマに関連した講演会とし、活発に議論や情報交換を行った。

【各分科会及びテーマ等】

分科会	テーマ	助言者	参加者数
幼稚部	遊びを広げるためのコミュニケーション～子どもと遊びと教師のかかわりを考える～	秋田県立聴覚支援学校 教諭(兼)教育指導監 佐藤 操 氏	12名
小学部	学び方を育てる授業作り	青森県立森田養護学校 教頭 船水 直樹 氏	25名
中学部	社会とともに生きる力をはぐくむための主体的・対話的な授業を目指して	秋田大学教育文化学部 講師 加藤 慎一 氏	22名
寄宿舍	よく考え、自ら学び、自分らしく生きていくための指導・支援の在り方	青森県立青森聾学校 元校長 風晴 富貴 氏	16名
養護教諭	緊急時対応への取り組みについて		3名
講演	「主体的に学習に取り組む態度を涵養することについて考える」	秋田大学教育文化学部 講師 加藤 慎一 氏	88名

3 令和7年度の研究大会について

令和7年11月7日（金）、東北聾教育研究会研究大会と併催とし、青森聾学校が主管校となり、公開授業・指定授業・授業研究分科会・研究協議分科会を行う予定である。この大会は令和8年度全日本聾教育研究会研究大会青森大会のプレ大会という位置づけで行う予定である。